令和8年1月13日（訂正版）

東京都高等学校体育連盟
柔道専門部加盟高等学校長殿
柔　道　部　責　任　教　諭　殿

東京都高等学校体育連盟柔道専門部
部　長　　穂　積　振　司
《公印略》

第51回東京都高等学校新人柔道大会・第29回東京都高等学校女子団体柔道大会
兼 第48回全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会

主催　東京都高等学校体育連盟
後援　公益財団法人東京都柔道連盟
主管　東京都高等学校体育連盟柔道専門部

1. 期　　日

【１日目】令和8年1月18日（日）8:30～9:30受付・計量　10:00試合開始
男子個人試合・女子個人試合
【２日目】令和8年1月24日（土）8:30～9:10受付・計量　9:30試合開始
男子団体試合・女子団体試合

2. 会　　場

【１日目】東京武道館（足立区綾瀬3丁目20番）
【２日目】講道館（文京区春日1丁目16番30号）

3. 引率・監督

東京都高等学校体育連盟柔道専門部「大会実施規程　Ⅰ．大会について　３．引率・監督」を参照すること。

4. 参加資格

東京都高等学校体育連盟柔道専門部「大会実施規程　Ⅰ．大会について　４．参加資格」を参照すること。なお、支部大会への出場を都大会参加条件とする。（団体試合における推薦校は除く）

5. 参加制限

①　男子団体試合（５人制点取り試合）
ア　支部からの参加数に制限は設けない。
イ　但し、支部大会を実施し、シード順を決定すること（３位決定戦も行う）。
ウ　前年度優勝校を第１シード、前年度準優勝校を第２シード、前年度第３位校を第３シード、前年度第４位校を第４シードとし、支部大会を免除する。
エ　チーム編成は、監督１名、選手６名の計７名とする。
オ　オーダー変更は毎回認められる。
カ　選手登録が４名のチームのオーダーについて（試合開始後の減員も含む）
a. 相手が５名の場合、自由配列を認める。
b. 相手が４名以下の場合、先鋒を空位とすること。
キ　選手登録が３名のチームのオーダーについて（試合開始後の減員も含む）
a. 相手が５名の場合、自由配列を認める。
b. 相手が４名の場合、先鋒を空位として、次鋒以下の自由配列を認める。
c. 相手が３名の場合、先鋒・次鋒を空位とすること。
ク　外国人留学生のチーム人員は１名以内とする。

②　女子団体試合（点取り試合）
ア　支部からの参加数に制限は設けない。
イ　但し、支部大会を実施し、シード順を決定すること（３位決定戦も行う）。
ウ　前年度優勝校を第１シード、前年度準優勝校を第２シード、前年度第３位校を第３シード、前年度第４位校を第４シードとし、支部大会を免除する。
エ　チーム編成は、監督１名、選手３名（先鋒52kg以下・中堅63kg以下・大将無差別）、補欠２名の計６名とする。なお、補欠は該当する階級に出場することができる。
オ　選手登録が２名のチームどうしの対戦（試合開始後の減員も含む）の場合には、配列をそのままの順序で後ろに詰めること。なお、次戦の相手が３名の場合には、エントリー通りの配列に戻すこと。
カ　外国人留学生のチーム人員は１名以内とする。

③　男子個人試合
ア　各支部各階級12名までとする。但し、同一校からは各階級２名以内とする。
イ　体重区分は次の４階級及び無差別級とする。[60kg・66kg・73kg・81kg・無差別]
ウ　出場は１階級に限る。
エ　外国人留学生の参加人数の制限は設けない。
④　女子個人試合
ア　支部からの参加数に制限は設けない。同一校からは各階級２名以内に制限する。
イ　但し、支部大会を実施し、シード順を決定すること。
ウ　体重区分は次の４階級及び無差別とする。[48kg・52kg・57kg・63kg・無差別]
エ　出場は１階級に限る。
オ　女子団体試合に先鋒で登録した者は、女子個人試合は48kg・52kg・無差別のいずれかに出場することができる。
カ　外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

6. 競技規則

①　最新の国際柔道連盟試合審判規程および東京都高等学校体育連盟柔道専門部申し合わせ事項による。
②　「優勢勝ち」の判定基準
個人試合・団体試合ともに「有効」又は「僅差」以上とする。「僅差」とは、両者にスコアが無い、あるいはスコアが同等であるが、「指導2-0」の場合を指す。
ア　個人試合では、規定試合時間が終了した時点で、両者にスコアが無い場合、又はスコアが同等である場合、指導の差が１つ以下であれば、延長戦(ゴールデンスコア)によって勝敗を決する。延長戦において、両者に指導の差がつく宣告を行った時点で試合を終了し、指導の数が多い選手が敗者となる。すなわち、指導差１つで僅差となる。
イ　チームの内容が同等の場合
【男子団体試合】
代表選手を任意に選出して代表戦を行い、その判定基準は個人試合に準ずる。
【女子団体試合】
引き分けた対戦の中から抽選で代表選手を選出し、直ちに延長戦(ゴールデンスコア)を時間無制限で行い、先に「技あり」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「指導」を与えられた選手が負けとなる。
なお、引き分けた階級が無い場合は、両者反則負けなどで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームとも選手の負傷などで２名しかおらず、引き分けた対戦が無い場合などは、代表戦をすべての階級の中から抽選で選出する。
③　試合時間は、団体試合、個人試合ともすべて３分間とする。ただし、延長戦(ゴールデンスコア)は、時間制限を設けない。

7. 競技方法

詳細については、東京都高等学校体育連盟柔道専門部「大会実施規程」を参照すること。

8. 大会参加費

男子団体試合　：１チーム　15,000円
女子団体試合　：１チーム　 9,000円
男女個人試合　：１名　　 3,000円
大会申込用紙に必要事項を記入の上、学校長・責任教諭の出場承認印を押して、大会参加費とともに各支部指定日時の代表者会議時に提出のこと。

9. 表　　彰

①　団体試合（男子・女子）
ア　上位８チームに表彰状を、また上位４チームには楯を授与する。
イ　優勝チームに優勝杯を贈る。
②　個人試合（男子・女子）
ア　上位８選手に表彰状を、また上位４選手にはメダルを授与する。
イ　但し、参加人数によって変更することもある。
③　前年度優勝チーム(男子・女子)にレプリカを授与する。

10. そ の 他

支部大会は1月12日(月)までに行うこととする。都大会組合せ会議は1月13日(火)に講道館第１会議室にて行う。なお、支部代表者会議等については、支部大会の２週間前までに各支部長が責任を持って加盟校に連絡する。